

科目名	書道 I	学年	3 年生	使用教材	教科書	光村図書	「書 I」
		単位数	2 単位 (選択)		副教材		
学習の目標							
1. 書表現の方法を理解し書写能力の向上を図り書の伝統に基づき表現する基礎的な技能を身につけさせる 2. 書の良さや美しさを感じ意図に基づいて構想し表現を工夫し、書の伝統と文化、価値、美を捉えさせる 3. 主体的に書の活動に取り組み、感性を高め、伝統と文化に親しみ、書を通して生涯学習につなげさせる							
学習の概要							
書道の実技や講義を通し書の伝統と文化、書に関する見方・考え方、普段の生活や社会の中にある文字に興味を持ち、幅広く関わる力を育成する事を目指し学習する							
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法		
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書 <ul style="list-style-type: none"> 楷書 (唐、北魏時代の作品) 行書 (東晋時代 王羲之の作品) 漢字仮名交じりの書 (硬筆 葉書) 		<ul style="list-style-type: none"> 漢字の成立と変遷を理解させる。 臨書の意義を理解し鑑賞・創作を通し、自己の表現に生かさせる。 生活の書に親しみ理解を深め創意を持ち書かせる。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本の姿勢・執筆法・用筆・運筆・字形を確認する 古典の概要・表現の特徴を理解し練習する 葉書を使い文字の大きさ・字形・書式を理解し場面に応じて書く練習をする 		
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書 <ul style="list-style-type: none"> 行書 (空海 顔真卿 米芾の作品) 草書 (智永の作品) 隸書 (後漢時代の作品) 篆書 (秦時代の作品) 篆刻 (朱文 姓名印) 		<ul style="list-style-type: none"> 漢字の成立と変遷を理解させる。 臨書の意義を理解し鑑賞・創作を通し、自己の表現に生かさせる。 篆刻の伝統と文化を理解させる。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本の姿勢・執筆法・用筆・運筆・字形を確認する 古典の概要・表現の特徴を理解し練習する 篆刻の用具・用材、落款の意味・種類を理解し創作する 		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の書 <ul style="list-style-type: none"> 平安時代の作品 		<ul style="list-style-type: none"> 仮名の成立と変遷を理解させる。 臨書の意義を理解し鑑賞・創作を通し、自己の表現に生かさせる。 日本の文学と書の伝統と文化を理解させる。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本の姿勢・執筆法・用筆・運筆・字形を確認する 古典の概要・表現の特徴を理解し練習する 料紙、構成の美を鑑賞する 		
観点別評価規準および評価方法							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
古典作品の成立・変遷・概要を理解している 古典作品の書風に即した用筆・運筆・字形・構成に基づいた表現効果、技術、技能を身につけている		古典作品の成立・変遷・概要・構成を構想し工夫している 臨書の意義を理解し作品制作意図に基づいた表現をしている		古典作品に関心を持ち、意図に基づいた作品制作に主体的に取り組んでいる 作品の意味・価値を考え鑑賞学習に取り組んでいる			
各時間、提出を指示した作品		各時間、提出を指示した作品		学習活動への参加状況 (出席状況・学習態度・意見発表等)			
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 = 1 : 1 : 1							
担当者からのメッセージ							
書道史や作者、書かれた時代背景を学ぶと、書に興味を持てます！							

科目名	音楽 I	学年	3 年生	使用教材	教科書	音楽 I Tutti +
		単位数	2 単位 (選択)		副教材	
学習の目標						
幅広い知識と教養を身に付け表現することの喜びを感じてもらう						
学習の概要						
様々な音楽を知り、背景を学ぶ。自他を敬愛し、感性がある人間を育成する。						
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法	
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽典 (基礎) ・ リズム (ハンドクラップ) ・ 器楽 ・ 民族音楽 I ・ 鑑賞 (映画) 		今まで学習してきた音楽理論をおさらいし、リズム (音楽の三大要素) を体得することで基礎部分を作り上げる。		リズムは、ハンドクラップで、アンサンブルも入れながらリズムを養う。 器楽は、基本座学だが希望があればリコーダーやキーボードを入れる。	
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽典 (聴音) ・ 民族音楽 II ・ 歌唱 ・ 総合芸術 (オペラ、ミュージカル) ・ ポピュラー音楽 (ジャズ、ロック) ・ 鑑賞 (映画) 		声に関するあらゆる音楽を学ぶ。身近なポピュラー音楽を掘り下げて学ぶことで歴史を知り、探究心や洞察力を養う。		歌唱は、様々な国の歌をそれぞれの言語で歌ってみる。聴音では、聴いた音を楽譜に記すことに挑戦する。	
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震災の話とレクイエム ・ 校歌 (卒業式に向けて) ・ 一芸披露 		学んできたことを自分で表現することで創造性の向上、自己発見、自己肯定へと繋がる。		一芸披露では (歌唱、演奏、発表など) 自分の得意なことを表現する。	
観点別評価規準および評価方法						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
学習過程を通して知識、技能を理解し、習得しているか。		知識、技能を活用してその時々に必要な思考、判断、表現を身に付けているか。		より深く習得しようと自らの学習状況を把握し、粘り強く調整しようとしているか。		
ペーパーテスト、実技テスト 授業内での確認、発表など		実技テスト 授業内での発表や感想文		授業内での発言、態度を観察		
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 = 1 : 1 : 1						
担当者からのメッセージ						
西洋音楽をはじめ様々なジャンルから少しずつ時にはマニアックに紹介します。 心動かされるものがあればどうぞ生涯の良きパートナーにしてください。						